

真室川小学校 河川愛護モニター通信

真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問・報告と、出張所の回答をご紹介します。

質問1 台風10号の影響で川の水は、増えていきました。ニュースで家が壊れているのを見てこわくなりました。真室川も川の近くのので心配です。大丈夫でしょうか？

昭和50年8月6日、真室川町の3分の1が呑み込まれる大規模な水害がありました。バケツをひっくり返したような雨が3時間も降り続け、町はあっという間に濁流に呑み込まれ、橋やお家が流されました。



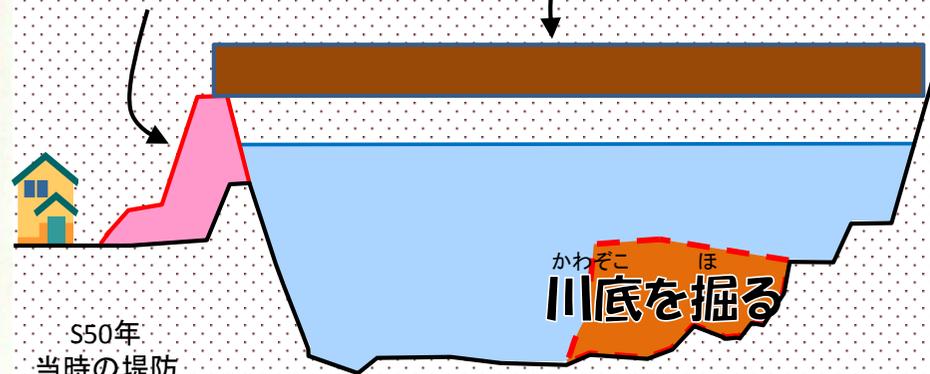
最上川支川真室川 昭和50年8月6日
最上郡真室川町 市街地へ流れ込む濁流

濁流の真室川

このように川をなおしました

堤防を高くする

橋を新しくする。



S50年
当時の堤防

すごい量の雨が降ったんだね！

質問2 川だけでなく川のまわりも清掃したりするんですか？
川に落ちた花火のゴミはどうするんですか？

鮭川出張所では、花火大会を行うための場所を貸しています。そして借りた人が、花火大会後清掃をしています。真室川小学校の皆さんは、清掃している人のお手伝いをして、ゴミ拾いをしている事になります。川の中に落ちた花火のゴミはそれほど大量ではないと思いますが、もし川に落ちた場合でも、下流にゴミ捕捉施設があるので、そこにゴミがたまり、拾って処分します。

今から40年前に真室川災害があり、その後堤防を高くしたり川底を掘るなどの工事を行い水が流れやすい川となっています。当時と同じ規模の大雨が降った場合はほぼ大丈夫ですが、それ以上の大雨が降り堤防が危険な状態になった場合は気をつけなければなりません。その時はお家の人や先生の話をよく聞いて、必要があれば町の避難所へ避難するなど、命を守る行動をとってください。